

好学尚武

評価してやれよ

初任校時、ピッタリ9名程度の部員で日々奮闘している時、先輩教員からの年賀状に書かれていたこの言葉・・・おかげさまで常に頭に入れて生活出来ています。

私は（世の中のあらゆる事は）実戦経験を積むことによって成長するという考えなので、たくさんの試合を組みます（この春休みもほぼ毎日試合でした）。真剣勝負の中でどれだけのことが出来るか・・・これが大切だと思います。

現チームのここまで・・・（当然課題はあるものの）よくやっていると思います。個人単位、チーム単位それぞれ評価したいと思います。

新入生が練習に加わりました。新2年生や3年生が1年前や2年前このような姿であったことを考えると、個人レベルでの成長は凄まじいものがあります。また野球の場合、実戦経験を積むことによって学ぶことの1つに「フォア・ザ・チーム」（チーム勝利のために自分がすべきことを考える）があります。そういう点でもこの代は貢献できるタイプが多いと思っています。

引き続き、「評価」することを忘れずに日々の活動をしていきたいと思えます。
よろしくお願い致します。

さすが浦高OB

野球を通じて様々な方との出会いを経験させていただいています（本当に感謝）。長く携わっているので、相手校主顧問の方とはだいたい面識があります。・・・が、練習試合時、相手校顧問の方は基本複数です。初対面の方との出会いも結構あるのです。

先日もこんなことがありました。
（高校名や氏名は控えます）

（私）先生はどちらで野球を？

（その先生）いえ、教員になるまで野球の経験はまったくありません。水泳をやっていました。

（私）なんでまた野球を？

（その先生）初任者として赴任したこの高校で野球部の顧問と言われたからです。言われたからには一生懸命やろうと、主顧問の先生にノックの打ち方や顧問としての仕事を教わりました（4年が経ちました）。

実は私も教員1年目は女子バスケ部の顧問だったので、気持ちはよく分かります。話が弾みました。

（私）県内の出身ですか？

（その先生）実は隣、浦高（県立浦和）の出身です。浦高で「どんなことも頑張る」ことを教わったので・・・

さすが浦高出身生、そう思いました。

教員になって1年目、あるいは転勤してきて1年目というのは、前任者の方などの関係で予想外な部活動を担当したりすることがあります。その1年目をどう過ごすか・・・私は（一緒に活動する）男子バスケ部顧問の先生に「本当は野球がしたいのに・・・みたいな態度は絶対にやめろよ。生徒が被害者になるような振る舞いはするな！」そんなアドバイスを受け、一生懸命バスケ部の顧問に取り組みました（2年目以降、引き受けたり希望したりした部活動顧問に対して一生懸命取り組むのは当たり前です）。

連日試合をしています。

今日も新たな出会いがあるでしょうか・・・
楽しみです。